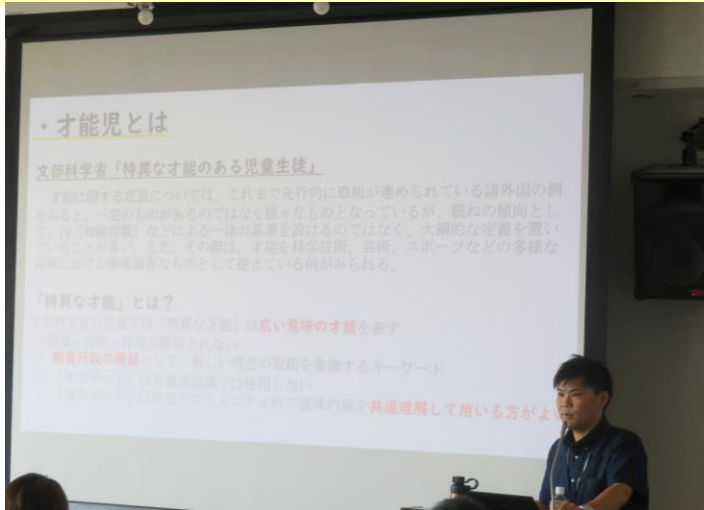




こども教育学科・田中達也先生が
「個性伸長教育研究会キックオフミーティング」
で講演され、教育新聞に掲載されました。



令和5年7月29日（土）、本学の田中達也講師が「個性伸長教育研究会キックオフミーティング」（於:神戸大学・瀧川記念学術交流会館）において講演を行いました。この研究会は、特定分野に特異な才能があり、それ故に学校での生きづらさを抱える児童生徒や、才能と発達障害を併せ持つ児童生徒の支援に向け、研究者・学校関係者・保護者などの関係者でつくる研究会です。キックオフミーティングでは、今回立ち上がった研究会の代表を務める神戸大学大学院のラッシラ・エルッキ助教、研究会メンバーで教員経験もある本学の田中達也講師が、文科省の有識者会議が取りまとめた方向性や、早修・拡充・2E教育といった才能教育の類型、諸外国の状況などについて講演しました。

教員と保護者がそれぞれの立場から、現在の困りごとや、期待する支援を語り合う場面もありました。研究会では今後、才能と発達障害を併せ持つ「2E(Twice-Exceptional)」の子供たちへの支援を中心に、▽講義や意見交換を含む研修▽学校と保護者が共に子供の特性を理解し、支援を考えるために記入する「サポートブック」の活用▽学生メンターの認定制度と教員養成課程での教師教育プログラム作成▽メタバースを活用した居場所作りーといった取り組みを検討しており、将来的には学校現場での実践を行っていく予定です。

記事URL : https://www.kyobun.co.jp/news/20230802_02/



検索は
「神戸常盤教育学部公式インスタ」「kobetokiwa.edu.o」で！

次回もお楽しみに！

